

医薬事業における取り組み



製薬事業に携わる者としての高い規律の実現を目指して

私たちは、「世界に通用する画期的オリジナル新薬の創出」を最大のミッションとして掲げ、その実現に向けて日々取り組んでいます。

人の生命に直接関わる事業を行っている以上、私たちは強い責任感、高度な倫理観、使命感を常に意識しなければなりません。そこでCSRの重点的な取り組みとして、「製薬事業に携わる者としての高い規律の実現」を掲げました。医薬品関連法令や基準の遵守・徹底を図るとともに、化学物質の適正管理の徹底を図るなど、適切に事業活動を行っています。また、JTグループの医薬品製造・販売を担う鳥居薬品(株)においても、プロモーションコードの遵守・徹底や医療分野での意識啓発活動などに積極的に取り組んでいます。

医薬品は、病気で苦しんでいる患者様にとって必要不可欠なものです。そのため、万が一その供給体制に問題が発生すれば、患者様の生命に影響を及ぼしかねません。そこで、私たちは、医薬品の安定供給を最重要課題の一つとして掲げ、さまざまな取り組みを進めています。特に、昨年発生した東日本大震災においては、私たちの事業への直接的な被害はなかったものの、供給体制の重要性を痛感しました。

「JTが創ったこの薬があってよかった」と世界中の患者様や医療従事者の方々に思っていただけるよう、グループ企業である鳥居薬品(株)とともに、今後とも一層の努力を続けてまいります。



医薬事業部長 藤本 宗明

医薬事業におけるCSRの取り組み

法規制の遵守・徹底

医薬関連法令・基準の遵守

新薬の開発においては、臨床段階前の薬の候補化合物の安全性確認や臨床開発段階における被験者の安全性確保などについて、多くの基準が法令などで定められています。そこで、JTグループでは、関連法令に準拠した体制を整えるとともに、業務手順書に従って業務が適切に実施されているかについて厳しい社内監査で確認し、安全性の確保に努めています。

また、既存の薬をより効果的かつ安全に患者様に届けるために、市販後も副作用や有効性のデータ収集に努めています。

化学物質の適正管理

JTグループでは、特定化学物質の管理に関する法律などのさまざまな法律・法令に準拠することはもちろん、さらに厳しい社内基準を設定し、社員の安全管理教育を徹底することにより、化学物質の適正管理を実施しています。JTグループの新薬の研究開発を担うJT医薬総合研究所では、化学物質管理システムのさらなる改善を進め、着実に運用しています。JTグループの医薬品の製造・販売を担う鳥居薬品(株)においても、化学物質安全管理規定及び手順に基づき、化学物質管理活動を計画的に実施しており、管理区分の設定による適正管理も化学物質の特性に応じて行っています。

プロモーションコードの遵守・徹底

製薬企業の業界団体である日本製薬工業会では、製薬企業が医療品・医薬品のプロモーションを実施する際に遵守すべき行動基準を「医療品医薬品プロモーションコード」で明示しています。

鳥居薬品(株)では、勉強会や研修などを通じて、プロモーションコードについて自らが定めたコードの遵守・徹底に努めています。また、質の高いMR(医薬情報担当者)育成を目指した教育にも取り組んでいます。

患者様の声を受けた取り組み

鳥居薬品(株)では、製薬企業の社会的責任として、患者様の視点を活かしたQOL(生活の質)の向上に努めています。例えば、患者様からの「薬剤の剤形について、もっと飲みやすくしてほしい」という声にお応えし、服用時の負担を軽減する新剤形を開発するなど、患者様の立場に立った薬剤改善に取り組まれました。

実験・研究における倫理的配慮

動物実験における倫理的配慮

医薬品の開発においては、薬の安全性や有効性を確認するための動物実験が必要不可欠です。医薬事業では、科学的合理性に基づくとともに動物の生命を尊重し、動物福祉の考えを常に念頭に置いた上で、適正な実施に努めています。

特に、JT医薬総合研究所においては、「動物の愛護及び管理に関する法律」(昭和48年法律第105号)及びそれに関連する指針(平成18年厚生労働省通知科発第0601005号)等に則って動物実験に関する社内規則を定め、動物実験及び飼養を適正に実施しています。動物実験については、動物実験委員会を設置した上で、同委員会において動物実験計画が3R*の考え方に基づき適正なものであるか審査しています。加えて2011年には第三者機関により適正な動物実験等が実施されている旨の認証を受けました。

* Replacement 動物を用いない代替試験法を活用すること
Reduction 使用する動物数を必要最小限にすること
Refinement 動物に無用の苦痛を与えないようにすること

ヒトゲノム・遺伝子解析研究における倫理的配慮

ヒトゲノム・遺伝子解析研究については、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(平成13年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)に則って、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会」を設置し、研究内容の倫理的、科学的妥当性の審査に取り組んでいます。

医療分野での意識啓発活動

鳥居薬品(株)では、患者様のQOL向上に貢献することを目指し、疾病との付き合い方や健康に関する情報をホームページ、小冊子を通じて幅広い層に提供してきました。ホームページ上では病気の仕組みや症状などを紹介するコーナーを設けています。また、透析による合併症への理解促進を図るため、(社)全国腎臓病協議会との共催により「透析のかゆみ川柳コンテスト」を実施しました。



鳥居薬品株
URL www.torii.co.jp